

## ① 子ども・子育て政策と教育環境の充実について

本町においての子ども・子育てについては、「子育て世代包括支援センター」を開設し妊娠期から子育ての窓口としてワンストップで切れ目のないサポートを行っています。又、子育てガイドブック「大きくなーれ！」により、妊娠・出産から子育てに関する多くの情報を保護者に発信されています。しかし、「本町の教育のまち・子育てにやさしいまち」のキャッチフレーズのなか、昨今、子どもを育てている親御さんたちからの相談が多く寄せられています。

1点目に、これまで長く継続し、乳幼児が親子で慣れ親しんでいた3か所あった「子育て支援センター」が今年3月に2か所閉鎖され、小学生のつどい遊びの場である「児童館」5か所に移設されました。その後、親御さんたちからは未だに、「親子で慣れていたのに閉鎖され困った」「利用しづらくなった」との落胆の声も聞かれます。今後の子育て支援センターの現状や今後の在り方についてお聞きします。

2点目に、障がい児を持たれる保護者からの相談です。本町では、第1期障害児福祉計画も策定され、支援の提供体制や成果目標などきめ細かに記されています。しかし、障がい児への「放課後等デイサービス」の提供の現状と情報提供が実際うまく伝達しているのか疑問の声も上がっています。そのことについてデイサービス等の現状と今後の考えをお聞きします。

3点目に、小、中学校へのエアコン設置について伺います。今年の暑さは猛暑で課外授業から帰って来た小学生が亡くなるなど、子どもたちの命の危険を脅かす事態が起こっています。そこで、本町の子ども達を猛暑から守り快適な室内での授業を受けるために、小、中学校のエアコン設置を早急を実現出来ないのかお伺いします。

4点目に、今年6月、大阪府北部地震により高槻市で小学校のブロック塀の倒壊で、小学4年生の児童が犠牲となる痛ましい事故が起きています。そこで、本町の小、中学校での危険箇所がないのか、老朽化した建物などの耐震性を今後どのように行うのかについてお伺いします。